

NF_HOPE育成プログラム

オリンピック強化委員会推進事業

(公財) 日本セーリング連盟
オリンピック強化委員会

はじめに

2021年以降、日本のセーリング競技が国際大会で金メダルを目指すために、オリンピック強化委員会はこれから8年間の長期計画をわかりやすく可視化し、誰もが挑戦したいと思える魅力的なプログラムを全国のセーラーに向けて発信いたします。

NF__HOPE育成プログラムでは、スキル、知識、人間力を高め、基礎という強い土台を作り、トップセーラーへと成長する過程の中で、目標とするWorld Sailing (WS) ユースワールド大会（以下：WSユースワールド）やオリンピッククラスのジュニアワールド大会での金メダル獲得を目指します。

NF_HOPE育成プログラムの目標

World Sailingユースワールド オリンピッククラス対象ジュニアワールドでの金メダル獲得

8年間の長期計画で育成プログラムを展開し目標を達成

選手選考：2020年12月に選手選考（トライアル・セレクション）を実施

キックオフ：2021年1月より育成プログラム開始

中期目標：2024年までに複数クラスでの入賞を達成

長期目標：2028年までに複数クラスでのメダル獲得・金メダル獲得を達成

キックオフ
2021年1月
プログラムを開始

中期目標
2024年までに
複数クラスの入賞

長期目標
2028年までに
複数クラスのメダル獲得
金メダル獲得

NF_HOPE育成プログラムの位置付け

NF HOPE育成プログラム

オリンピックでのメダル獲得を狙える選手をユース期から育成する事を目的とした、「NF_HOPE育成プログラム」事業を展開する。ユース強化とHOPE・シニア強化の間に「HOPE育成」を新設し、ユース期の主要強化対象選手として位置づける。

オリンピックを志す強い意志と行動力のある選手を、選考において「HOPE育成選手」に認定し、育成プログラムを通じてより質の高い強化を行い、世界に通じる高いスキルを身につけた選手育成を目指す。

NF_HOPE育成プログラム事業

プログラム目標

WSユースワールド オリンピッククラス ジュニアワールド
メダル・金メダル獲得

育成プログラム

STEP 3

STEP 2

STEP 1

全てのプログラム修了時にシニア選手と対等の力を持ち
自立して行動できる選手の育成を目指す。

オリンピック日本代表

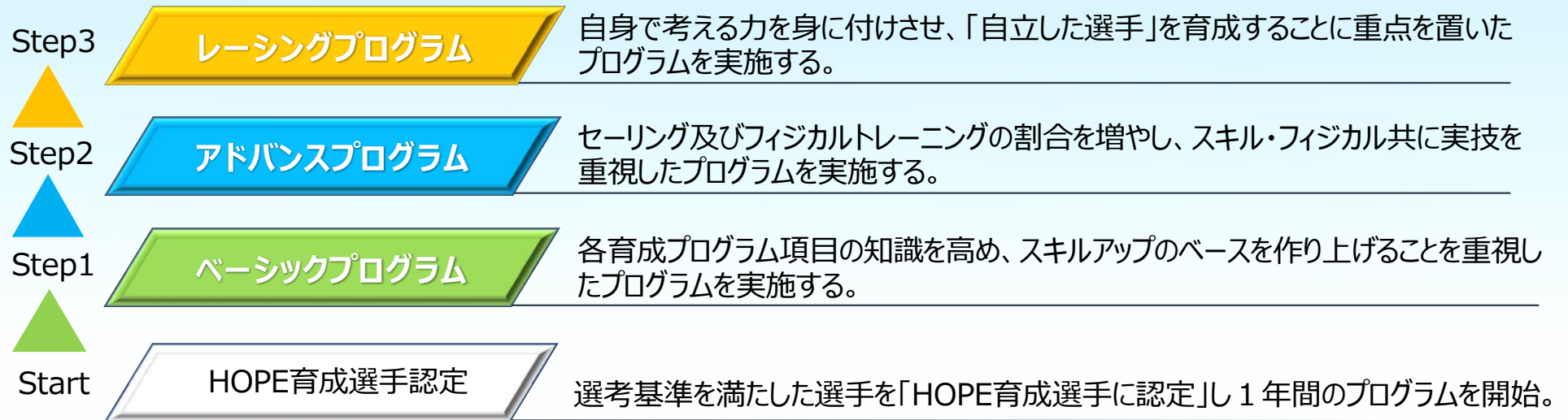
オリンピック金メダル獲得



育成プログラム概要説明

育成状況に応じた 3 ステップ

各ステップを1年単位のプログラムで構成し、選手は1年毎に再選拔し、継続もしくは新規加入の循環システムとする。



予定プログラム

各分野の専門スタッフによる講義/実技指導を年間12回(1回/1ヶ月)強化合宿を通じてレベルアップを図る。

習熟度チェックシートを作成、選手・保護者・コーチで課題を共有し、目標を明確にした取り組みを実施する。

- | | | | | |
|-----------------|------------------|-----|-------|----------|
| ・計画立案・コミュニケーション | ・フィジカル フィットネス | ・栄養 | ・ルール | ・インテグリティ |
| ・セーリング技術/理論 | ・ストラテジー & タクティクス | ・英語 | ・気象/潮 | ・その他 |

HOPE育成選手選考方法 保護者・所属先・学校の理解、承諾が得られていることを基本条件とする

セレクション選手

- ・WSユースワールド・オリンピックを目指す強い意志のある選手
- ・選考対象種目の全日本選手権大会で優勝・準優勝の選手
- ・選考対象種目の全日本選手権大会で学年別順位で1位の選手
- ・大会成績で資格を得た選手は応募書類をダウンロードして提出
- ・対象年齢:13歳～22歳
- ・書類審査にて認定の合否判定

【選考対象種目】

420/29er/Laser Radial/Nacra15/Techno293 PLUS
Formula Kite U19/470/49erFX/Techno293

トライアル選手

- ・WSユースワールド・オリンピックを目指す強い意志のある選手
- ・対象年齢:13歳～22歳
- ・身長でオリ強が定める数値をクリアできる選手
- ・体力測定を行い2次審査の参考にする
- ・1次審査：書類審査 → 2次審査：試験・面接 認定の合否判定
(公示にて詳細発表)

WSユースワールド代表内定選手

- ・WSユースワールド選考大会にて日本代表選手に選出された選手
- ・大会終了後、選手に確認し認定の合否判定

HOPE育成選手認定 育成プログラム定員：最大30名

各選手：「HOPE育成認定」合格通知後の翌月よりプログラムに参加

1年間のプログラム開始：2021年1月～12月

1年間のプログラム期間中にWSユースワールド・シニア全日本大会で好成績を獲得した選手はHOPE選手として推薦する場合がある
プログラム期間は1年間とし、継続の意思がある選手は次年度に再度選考へトライする必要がある

8年後の未来に向けて

NF_HOPE育成プログラム

オリンピック強化委員会推進事業

SAILING TEAM JAPAN

オリンピック強化委員会ホームページ <http://jsaf-osc.jp>

プログラム責任者：中村健一

副責任者：宮野幹弘 / 山田 寛